

楽楽心マーケット 家族連れで賑わいました

なな な か ま ど

令和6年11月1日(金)
第76号
一般社団法人
猿 払
ななかまどの会
会 報



賑わった楽楽心マーケット会場

十月二十六日土曜日、地域交流施設プラス小規模多機能型居宅介護施設「楽楽心（ららはーと）」でマーケットが開催されました。幼児連れの家族の参加がとっても目立ちました。



ななかまどの会では道の駅売店の営業最終週でした。が地域交流を優先させ、およそ三百個のパンを販売しました。ホールにはパッチワークの会とニットハートの会の作品の展示と販売コーナー、三つの縁日コーナーが設けられ、十時からの午前の部には、幼児をだっこしたお父さん、家族連れ、お年寄りの参加が目立ちました。奥の部屋では平常通り「デイサービス」も行われており、パンの売れ行きも順調

に進み、午後の部の終了を待たずに完売しました。ご協力ありがとうございました。お昼ご飯として召し上がってくれたお客さんから「おいしかった」と声をかけて頂いたときには本当にうれしかったです。

次のパン販売は十一月九日、十日の文化発表会（農環センター）です。十一月一日に販売される「暮らし応援商品券」はお釣りは出ませんが使えますので大いに利用してください。

「あれっ？認知症？」と思ったらまず相談。

認知症は自分ではなかなか分かりづらく、わかったとしてもプライドが邪魔して認めたくないもの。そこで家族が本人を優しく説得して保健福祉センターもしくは楽楽心の地域包括支援センターへ相談されてはいかがでしょうか。

パン作り体験教室

十月八日、楽遊館を会場に教育委員会主催の「パン作り体験教室」が開催されました。参加者は四名と少なかつたのですが、あんパン、ちくわパン、バターロールの三種類のパンを二個ずつ六個作りました。作ることでさまざまなものが、ななかもとの会員の指導で上手に作る事ができました。



当初は「親子体験」を考
えていたようですが、曜日
が悪く、来年度はなんとか
実現できるように工夫するそ
うです
ななかもどの会でもコロ
ナの影響でしばらく途絶え
ていた小学生を対象にした
教室を年度内には開けないも
のかと計画をしています。
時期が来たら案内します
ので、そのときはふるって
参加ください。

ハロウィン 放課後塾では...

十月に入ったとたん宿題や
家庭学習を終えた塾生は早々
制作活動モードに入ります。
テーマはもちろん「ハロウ
ィン」。



コウモリやカボチャなどお
なじみのグッズを折り紙する
子もいれば、写真のように工
作用紙で箱の展開図を製図
し、それに思い思いのキャラ
クターを貼り付けていく子も
いました。この子の刺激を受
けたのか、下の学年の子も作
りました。箱が全部で四つにな

秋の話題二点

何に使うかわかりませんが、塾では発想したことが
すぐに形にできる、子ども
たちにとっては安心できる
居場所になっていきます。
これまでの作品、文化祭
で展示します。見に来てく
ださい。

消防署裏の七竈が真っ赤な
実をつけていました。



さるふつの風の会の秋のた
ご揚げ大会がありました。遠く
美唄からも参加がありました。

